

## 青木地域

### (1) 青木地域の概要

本地域は、市の中央部の西よりに位置し、市役所本庁舎などの公共施設が立地しています。

早い時期から市街化が進み、公園や道路などの都市基盤が整備され、バスなどの交通網も発達した良好な住宅地を形成する一方、昔ながらの工場も存在します。

また、映像産業拠点施設や科学館などを擁するSKIPシティやスポーツ活動の拠点である青木町公園、イベント時の会場にもなるオートレース場が立地しています。さらに、地域社会のリーダーとなる人材を育成するため、川口市立高等学校の整備を進めています。



本地域のまちづくりに向けた主なポイントとして、以下のものがあげられます。

#### < 青木地域のまちづくりのポイント >

- ① SKIPシティ及びその周辺のまちづくり
- ② 住・工混在市街地の適切な土地利用への誘導
- ③ 都市機能を支える交通体系づくり
- ④ 親しみのある水辺の環境づくり
- ⑤ 公共施設の計画的な更新
- ⑥ 総合的かつ計画的な防災まちづくりの推進



< SKIPシティ >



< 青木町公園 >

## (2) 青木地域のまちづくり方針

### ① SKIP シティ及びその周辺のまちづくり

◎他地域との交通動線の確保と回遊性の向上を図るとともに、都市機能を集積させ、人が集まる魅力的な空間づくりを関係機関と協力しながら促進し、SKIP シティのさらなる活用と周辺地域の活性化を図ります。

◎新たに整備する川口市立高等学校を中心とする、教育都市にふさわしい周辺環境の形成を推進します。



＜川口市立高等学校の整備イメージ＞

### ② 住・工混在市街地の適切な土地利用への誘導

◎既存の工場や倉庫などの維持・保全に配慮する一方で、工場や倉庫などの跡地の土地利用転換にあたっては、住宅だけではなく、商業・医療・保育など様々な生活サービス機能を有する施設を誘導し、快適で良好な住・工・商が共存するまちづくりを推進します。

### ③ 都市機能を支える交通体系づくり

◎鳩ヶ谷駅とSKIP シティを結ぶBRT など新たな公共交通システムの導入の検討を進め、交通ネットワークの充実を図ります。

◎鳩ヶ谷駅とSKIP シティ間の交通を円滑にし、市内の都市活動を支える幹線道路として、都市計画道路の拡幅を進めます。

◎地域の道路利用の実態にあわせ、安全な歩行者・自転車空間の整備を推進します。

### ④ 親しみのある水辺の環境づくり

◎芝川及び旧芝川は、川口市の自然を象徴する水と緑の骨格として、河川改修事業にあわせ、やすらぎとうるおいを与える護岸や河川敷の緑化、遊歩道などの整備・活用を進めます。

◎豎川などの地域内を流れる中小河川は、河川改修事業にあわせ、暮らしにやすらぎとうるおいを与える空間としての活用を進めます。

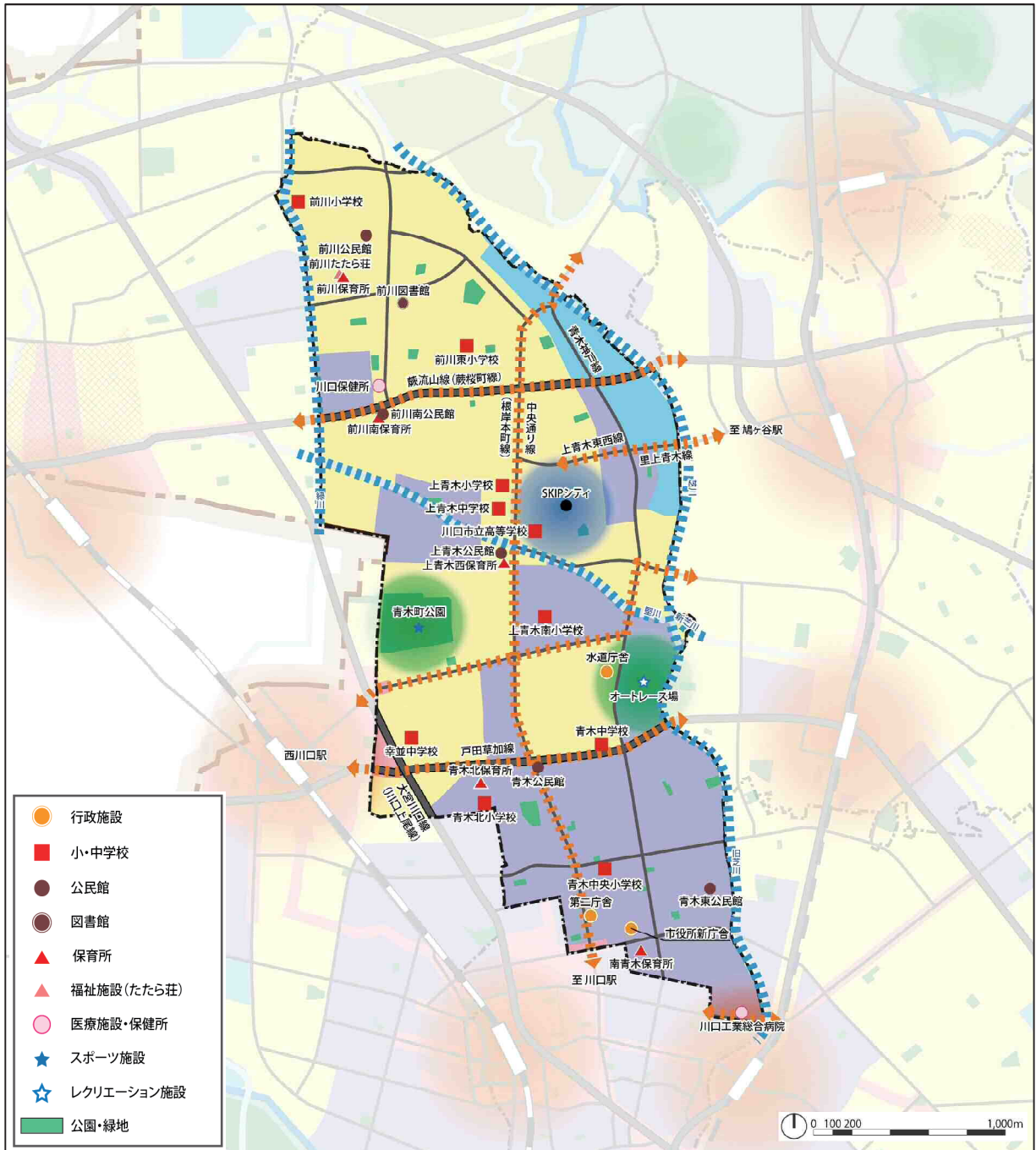
### ⑤ 公共施設の計画的な更新

◎市営住宅や図書館など既存の公共施設の更新にあたっては、計画的な統廃合や地域のまちづくりに寄与することを主眼とした跡地の有効利用を推進し、生活利便性の高い都市環境の形成を図ります。

**⑥ 総合的かつ計画的な防災まちづくりの推進**

- ◎誰もが安心して住み続けられるように、地震や豪雨などの自然災害や大規模火災に強い総合的かつ計画的な防災まちづくりを進めます。
- ◎一次避難場所であるオートレース場などは、耐震化を図るなど防災機能の強化を推進します。
- ◎河川改修事業により、旧芝川の貯水能力を向上させる対策などを推進し、浸水被害の軽減を図ります。
- ◎県道川口上尾線など緊急輸送道路沿道における建築物の耐震化を促進します。

【青木地域のまちづくり方針図】



凡例	ゾーン	拠点	ネットワーク
	住宅を主体とするエリア	駅を中心とする生活拠点	拠点を結ぶ公共交通軸(バス)
	商業と住宅が共生するエリア	公園・レクリエーション拠点	地区内幹線道路
	住宅と工業が共生するエリア	情報産業拠点	広域・都市幹線道路網
	工業を主体とするエリア		水のネットワーク

※拠点を結ぶ公共交通軸(バス)とは、30本/日以上バス路線のうち、拠点間を結ぶ路線を表しています。  
※道路名については、( )内に、国道・県道名を記載しています。



## 南平地域

### (1)南平地域の概要

本地域は、市の南東部に位置し、東京都足立区に隣接しています。

地域内には、朝日環境センターや南平工業団地があります。

埼玉高速鉄道線の開通に伴う住宅の需要の高まりから、川口元郷駅周辺においてマンション建設が急速に進行中です。

また、地域内にある荒川、旧芝川、新芝川は、治水対策を基本としながら、市民が親しみやすい水辺環境づくりを継続的に取り組んでいます。



本地域のまちづくりに向けた主なポイントとして、以下のものがあげられます。

#### <南平地域のまちづくりのポイント>

- ① 川口元郷駅周辺のまちづくり
- ② 住・工混在市街地の適切な土地利用への誘導
- ③ 都市機能を支える交通体系づくり
- ④ 親しみのある水辺の環境づくり
- ⑤ 公共施設の計画的な更新
- ⑥ 総合的かつ計画的な防災まちづくりの推進



<川口元郷駅前>



<朝日環境センター>

## (2)南平地域のまちづくり方針

### ① 川口元郷駅周辺のまちづくり

- ◎子どもから高齢者・障害者まで誰もが安全・安心で快適に利用できる利便性の高い生活拠点として、商業・医療施設など、様々な生活サービス施設と中高層の共同住宅が共生する土地利用を誘導します。
- ◎土地利用の転換にあわせて、建物を共同化するなど、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。

### ② 住・工混在市街地の適切な土地利用への誘導

- ◎工業を主体とする区域においては、工業の利便を増進し、安全で快適な活動が行える環境の充実を図るとともに、高速道路に至近の区域などでは、交通利便性を生かした産業誘致の検討を進めます。
- ◎既存の工場や倉庫などの維持・保全に配慮する一方で、工場や倉庫などの跡地の土地利用転換にあたっては、住宅だけではなく、商業・医療・保育など様々な生活サービス機能を有する施設を誘導し、快適で良好な住・工・商が共存するまちづくりを推進します。

### ③ 都市機能を支える交通体系づくり

- ◎川口駅や川口元郷駅への交通を円滑にし、市内の都市活動を支える幹線道路として、都市計画道路の整備を進めます。
- ◎地域の道路利用の実態にあわせ、安全な歩行者・自転車空間の整備を推進します。

### ④ 親しみのある水辺の環境づくり

- ◎荒川の広大な河川空間については、防災上の機能に配慮しながら、スポーツ・レクリエーションや自然観察・散策などが楽しめるオープンスペースとしての活用を進めます。
- ◎旧芝川及び新芝川は、川口市の自然を象徴する水と緑の骨格として、河川改修事業にあわせ、やすらぎとうるおいを与える護岸や河川敷の緑化、遊歩道などの整備・活用を進めます。



<旧芝川>

**⑤ 公共施設の計画的な更新**

◎公民館や保育所など既存の公共施設の更新にあたっては、計画的な統廃合や地域のまちづくりに寄与することを主眼とした跡地の有効利用を推進し、生活利便性の高い都市環境の形成を図ります。

**⑥ 総合的かつ計画的な防災まちづくりの推進**

◎誰もが安心して住み続けられるように、地震や豪雨などの自然災害や大規模火災に強い総合的かつ計画的な防災まちづくりを進めます。

◎河川改修事業により、旧芝川の貯水能力を向上させる対策などを推進し、浸水被害の軽減を図ります。

◎国道 122 号など緊急輸送道路沿道における建築物の耐震化を促進します。

